

令和5年度 東京都立足立特別支援学校 学校経営報告

校長 鈴木 常 義

1 今年度の取組と自己評価

【A 学ぶ】

(1) 人権を尊重した教育の充実

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度 数値目標	達成数値	達成度
①生徒の人権に配慮した指導の徹底	ア 適切な援助希求行動の育成（SOSの発信）	随時（全教育活動）	随時実施	◎
	イ 人格を尊重した「さん」呼びの推奨	随時（全教育活動）	随時実施	◎
	ウ 自己肯定感、自尊感情や互いを思いやる気持ちの育成	随時（全教育活動）	随時実施	◎
	エ 乱暴な態度や言葉、追い込む指導等の禁止	不適切な指導ゼロ	不適切指導ゼロ	◎
②体罰・いじめの早期発見の推進と防止の徹底	ア 体罰を生まない職場風土醸成のための研修の実施	年間3回以上	3回実施	◎
	イ いじめ早期発見の徹底（チェックリストの実施）	各学期1回	学期1回実施	◎

(2) 根拠に基づく授業改善と教員の専門性向上

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度 数値目標	達成数値	達成度
①アセスメント、外部専門家の活用による授業改善	ア 専門家（障害当事者・OT・PT等）による授業観察及び評価	年間15回以上	17回実施	◎
	イ 外部専門家を積極的に活用した授業改善の推進	各科・教科1回以上	国・社・体・実・9回	○
②主体的、対話的で深い学びを実現するための授業改善の推進	ア 授業者支援会議方式による研究授業の実施	年間15回以上	24回実施	◎
	イ 授業に関する生徒評価の満足度の向上	肯定的評価90%以上	88.4%	×

(3) 自立の礎となる生活指導の充実

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度 数値目標	達成数値	達成度
①ルールを守る安全・安心な学校生活の実現	ア 校訓（誠心誠意）と「あ（挨拶）・じ（時間）・み（身だしなみ）」の指導	毎月1回以上	毎月実施	◎
	イ 生徒ハンドブックを活用した指導（生活のきまり）	毎月1回以上	毎月実施	◎
	ウ 生活指導だよりの発行	年間3回以上	4回	◎

②安全・安心な通学環境の整備	ア スクールバスの安全な運行と車内事故の防止	年間車内事故ゼロ	事故ゼロ	◎
	イ スクールバス連絡会、乗務員研修会の実施	年間3回以上	3回	◎

(4) オリンピック・パラリンピック教育の推進

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度数値目標	達成数値	達成度
①学校2020レガシーの構築に向けた取組の推進	ア 「4×4の取組」を明確にしたオリンピック・パラリンピック教育の実施	全教科で実施	全教科で実施	◎
	イ アダプテッド・スポーツを取り入れた体育活動の充実	体験3種目以上	3種目実施	◎
	ウ 芸術・文化活動の推進	3展覧会以上出展	8展覧会	◎
	エ 国際交流の実施	各科隔年で1回以上	普通科2年で実施	◎

(5) 読書活動の充実

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度数値目標	達成数値	達成度
①生徒が図書に親しむ環境づくりと学校図書活用の推進	ア 読書活動の推進	校内POPコンテスト	実施	◎

(6) 主体性を育む防災教育の推進

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度数値目標	達成数値	達成度
①現実的な防災・避難訓練の実施と体制整備	ア 現実度の高い避難訓練の実施	年間3回以上	11回	◎
	イ 宿泊防災訓練における総合的な防災学習の実施	年間1回	1年・3年合同で実施	◎
	ウ 伝言ダイヤルを活用した緊急時連絡訓練の実施	年間2回	2回実施	◎
	エ 教員の救命技能認定証取得奨励	取得率100%	取得97%	○
②地域と連携した大規模災害対策の検討	ア 地域と連携した総合防災訓練の実施	年間1回	2回	◎

(7) 安心・安全な環境整備

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度数値目標	達成数値	達成度
①未然の事故防止意識の高揚	ア 学習環境の安全点検の実施	年間2回	実施	◎
	イ 学習指導案に事故防止策の記載	研究授業時に必須	達成	◎

(8) 体育健康教育の推進

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度 数値目標	達成数値	達成度
① 多様な運動機会の創出	ア 公開による研究授業	年1回以上	2月実施	◎

(9) ICT教育の推進

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度 数値目標	達成数値	達成度
① オンライン学習のための環境整備	ア デジタル教材の開発	各教科1点以上	実施中	◎

【B つながる】

(1) 自立と社会参加を目指す進路指導・職業教育の充実

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度 数値目標	達成数値	達成度
① 各種検定を活用した学習意欲の向上	ア 漢字能力検定、日本語ワープロ検定等の受検推進【普・職】	検定参加者延80名以上	52名(漢43P9名)	×
	イ 各種技能検定(清掃、喫茶接客、流通等)を活用した意欲向上【普・職】	検定参加者20名以上	職10名 フォークリフト 普12名	◎
② 作業学習・職業に関する専門教科の指導の充実	ア 普通科各作業班の作業内容の充実と生産高の向上【普】	年間売上20万円以上	144.950円	×
	イ 商品の開発・研究と外部販売の充実【職】	年間売上100万円	1.119.150円	◎
③ 実業意欲向上プログラムを活用した作業学習の充実	ア 葛飾商業高校との連携による販売と作業製品改善【普】	年間5回以上、モニター1回以上	8回実施 モニター2回	◎
④ 外部専門家を活用した指導の充実	ア 外部専門家による作業内容、方法の指導・助言	年間延110時間以上	117時間	◎
⑤ 個々の実態に応じた進路指導の充実	ア 適性に応じた適切な進路指導の実施	就労率【職】100% 【普】20%	就労率【職】100% 【普】20%	◎
	イ 個別移行支援計画を活用した就労支援機関等との引継ぎ	100%	100%	◎

(2) 地域と連携した教育活動の充実

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度 数値目標	達成数値	達成度
① 主権者教育の充実	ア 足立区選挙管理委員会と連携した生徒会選挙の実施	各科年1回	実施	◎
	イ 関係機関との連携した消費者教育の実施	年間計画への位置づけ	3回実施	◎
② 関係機関と連携した支援会議の充実	ア ニーズに応じた適時迅速な支援会議の実施	年間随時	42回実施	◎
	イ 外部専門家(S S W)を活用した支援策の検討	年間10回以上	15回実施	◎

③地域における社会貢献活動・交流活動の推進	ア 地域関係機関等における環境整備活動（清掃等）の実施	年間10回以上	30回	◎
	イ 地域自治会を招いての交流活動の実施	年間1回以上	実施	◎
④共生社会の実現に向けた理解啓発活動の推進	ア 「オープンフェスタ」への積極的な参加推進	参加生徒25名以上	30名限定	◎
	イ 草加記念体育館での作品展示	年間1回以上	1回実施	◎
	ウ 文教大学等でのパン販売実施	学期1回以上	15回実施	◎
	エ 都立版エリアネットワークの充実	年間20回以上	33回実施	◎

(3) 積極的な発信・広報

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度数値目標	達成数値	達成度
①インターネットを活用した積極的な情報発信	ア ホームページの積極的活用	更新年間120回以上	205回更新	◎
	イ X（旧 Twitter）を活用した迅速な情報提供	発信年間300回以上	480回発信	◎
	ウ Teams を活用できる環境整備推進	利用できる保護者65%以上	100%アカウント発行	◎
②職能開発科理解推進の充実	ア 足立区及び近隣区への理解推進の徹底	全中学校訪問	実施	◎
	イ 職能開発科学科説明会の充実	参加者300名以上	250名	×
	ウ 出前授業・体験授業の実施	年間3回以上	10回	◎

(4) 経営企画室の経営参画

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度数値目標	達成数値	達成度
① 経営企画室職員の生徒・指導方法理解の推進	ア 授業参観・研修会への参加	各1回以上	各1回実施	◎

【C 語り合う】

(1) 部活動の充実

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度数値目標	達成数値	達成度
① 部活動・特別活動の充実	ア 運動系、文化系部活動の活動促進	加入率40%以上	40.6%	◎
	イ 近隣特別支援学校等との交流、合同練習等の実施	年間3回以上	10回	◎
②生徒会交流活動の充実	ア 近隣交流校（淵江高校）との交流活動の実施	年間2回以上	1回	×

(2) 健康づくりと体力の向上

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度 数値目標	達成数値	達成度
①健康の基盤となる食育の推進	ア 食育だよりの発行	年間4回以上	年4回発行	◎
	イ 食物アレルギーとエピペンの使用に関する研修の実施	年間1回以上	1回実施	◎
	ウ 緊急時対応訓練の実施	年間1回以上	1回実施	◎
	エ 食育相談の実施	年間10回以上	26回実施	◎
	オ 食育講話の実施	年間1回、参加15名以上	1回8名	×
	カ 適正なBMI（ボディ・マス指数）の推進	通信3回以上	3回発行	◎
②専門家と連携した指導・相談の充実	ア 歯科衛生士と連携した歯科保健指導の実施	年間3回以上	4回	◎
	イ 臨床心理士と連携した生徒相談の実施	年間150回以上	276回実施	◎
③医療的ケアに関する理解の推進	ア 医療的ケアに関する理解啓発研修の実施	年間1回	2回実施	◎

(3) 保護者・地域とともに進める開かれた学校づくり

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度 数値目標	達成数値	達成度
①保護者との連携の工夫・充実	ア オンラインでの研修会・保護者会実施体制の確立	年間1回以上	4回実施	◎
	イ 学校評価アンケート（保護者）の回収率の向上	回収率80%以上	70.6%	×
②保護者、地域との積極的な情報共有の推進	ア 授業参観週間の実施	50名以上参加	187名	◎
	イ 保護者向け進路説明会の充実	年4回、満足度80%以上	全学年95%以上	◎
	ウ 保護者、地域向け防災講演会実施	年1回	宿泊防災訓練で実施	◎

(4) ライフ・ワーク・バランスの実現に向けた職場環境の整備

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度 数値目標	達成数値	達成度
①教職員各自の「働き方改革」の推進	ア 教職員の在校時間の適切な把握による自己管理意識の醸成	◎平均超過時間45時間以内90%	超過勤務時間45時間未満79.3%	×
	イ データ教材の共有化推進	一人1回以上提供	10月までに実施済	◎
②積極的な業務改善と働きやすい職場風土づくり	ア 「マイプラスワン行動」の推進	全教職員	実施	◎
	イ ハラスメントや服務事故ゼロ、明るく働きやすい職場環境づくり	服務研修年間3回	実施	◎

2 次年度以降の課題と対応策

新型コロナ感染症対策により、様々な学習場面で我慢を求められてきたが、令和5年5月8日より、感染症法上の位置づけが「2類相当」から「5類」に移行され、全校生徒が一斉に集まった体育祭・文化祭・儀式的行事などが実施できるようになった。今まで以上に、学校生活の充実に努めていく

今年度の学校評価を受け、学校運営連絡協議会より提言された次年度の重点課題を踏まえ、以下の4点を柱として教育活動を進めるとともに、他の課題についてもその具体的方策を次年度学校経営計画に示し、着実に対応を進めていく。

(1) 保護者アンケートの回答率について

今年度の学校評価保護者アンケート回答率は70.6%であり、目標の80%には及ばなかった。回答率向上のために、来年度はオンラインでの回答と併せて、全保護者に紙面でのアンケート用紙の配布も行う。これと並行して、れんらくもうメールやX(旧Twitter)なども用いて定期的に回答要請を行い、回答率の確実な向上に努める。回答数の向上が、アンケート調査の質を高め、学校経営を考えるうえで貴重な資料になると確信する。

(2) 教員の働き方改革について

(ア) 保護者より

教員の働き方改革に関する設問では、「わからない」と否定的意見を合計した回答数が過半数に達した。また、自由記述においても、教職員の健康状況を心配する意見が複数挙がっている。17時に学校電話を留守番電話に切り替えていることや閉庁日を設けていること、副校長マネジメント支援員やICT支援員の配置が働き方改革としての取組であることなど、具体的なアクションを学校だよりなどで発信していく。

(イ) 教職員より

「業務の精選」をテーマに教職員同士、もしくは管理職と教職員で対話的で双方向に検証を進めることが解決への一助になる。あわせて、分掌業務の精選を行っていく必要がある。各分掌の人数や業務量、分担が適切かを検討する。業務の一部を学年/学科内の係に移行することで、人数の整理が可能なものもあると判断する。

(3) 生徒指導について

多くの教員の人権感覚の高まりにより、危惧する声も挙がってきている。生徒の人権を守り、不適切な指導を撲滅するために、相互に指摘し合える関係作りが今後も求められる。看過しない意識を高めていく。

(4) 卒業後を見越した指導について

福祉施設(生活介護事業所)より、活動を行わない時間帯で各自工夫して過ごせる力の育成、ADLの向上を高等部段階で行うことを望む意見が挙がっている。教職員は、保護者と連携しながら卒業後の社会生活を見据えて指導を行っていく。